

安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（物件事故除く）

- 1 本資料は、千葉県内で発生した安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が業務中又は通勤中に関係した人身事故を抽出・分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

平成 31 年中

1 県内の発生状況（運転目的が業務中・出勤中・退社中のもの）

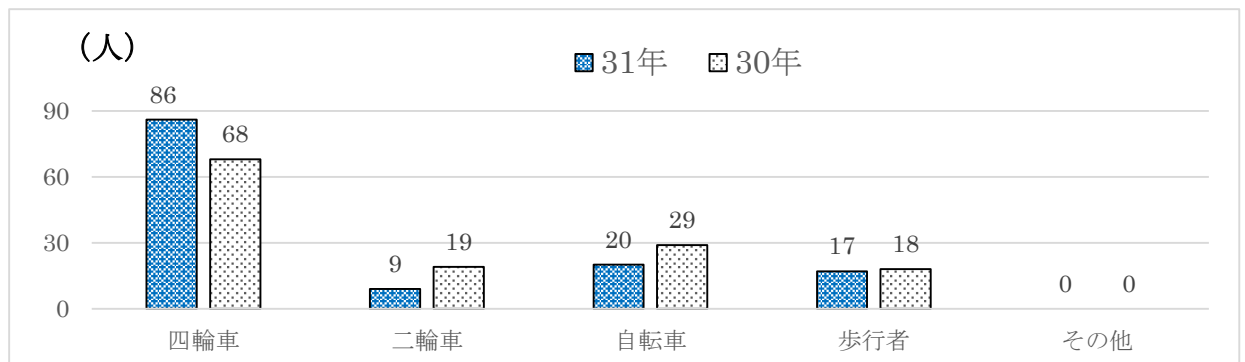
		1月中			
		31年	30年	増減数	増減率
発生件数		101	122	-21	-17.2
昼	日の出1時間後	12	16	-4	-25.0
	その他昼	48	53	-5	-9.4
	日の入1時間前	5	4	1	25.0
	昼計	65	73	-8	-11.0
夜	日の入1時間後	12	16	-4	-25.0
	その他夜	18	28	-10	-35.7
	日の出1時間前	6	5	1	20.0
	夜計	36	49	-13	-26.5
死者数		2	1	1	100.0
負傷者数		130	133	-3	-2.3
重傷者数		7	12	-5	-41.7
軽傷者数		123	121	2	1.7

○ 概略

1 月中における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、前年同期に比べ発生件数と負傷者数は減少しましたが死亡事故は1件増加しており、早くも厳しい情勢となっています。本年も引き続き安全運転管理の徹底をお願いします。

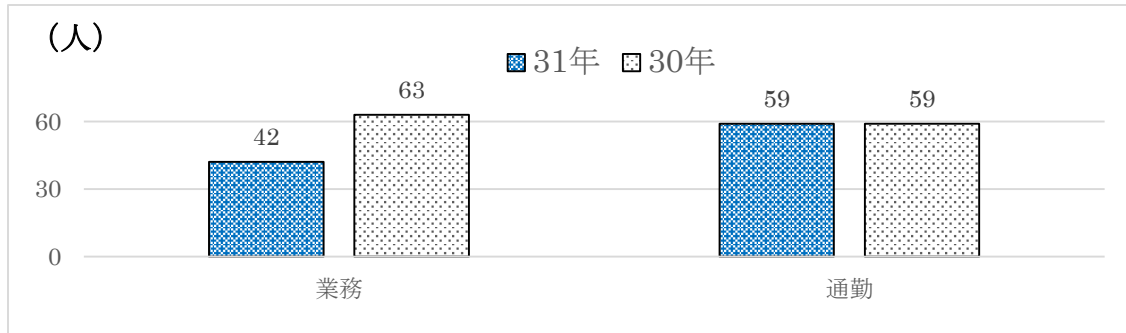
- 1 月中の発生件数は101件（前年比-21件）、負傷者数は130人（同-3人）と減少しました。

2 死傷者の状態別（平成 31 年中）



- 死傷者の状態別では、四輪車乗車中が86人（65.2%、前年比+18人、+26.5%）と増加しましたが、他の状態での死傷者は減少しています。

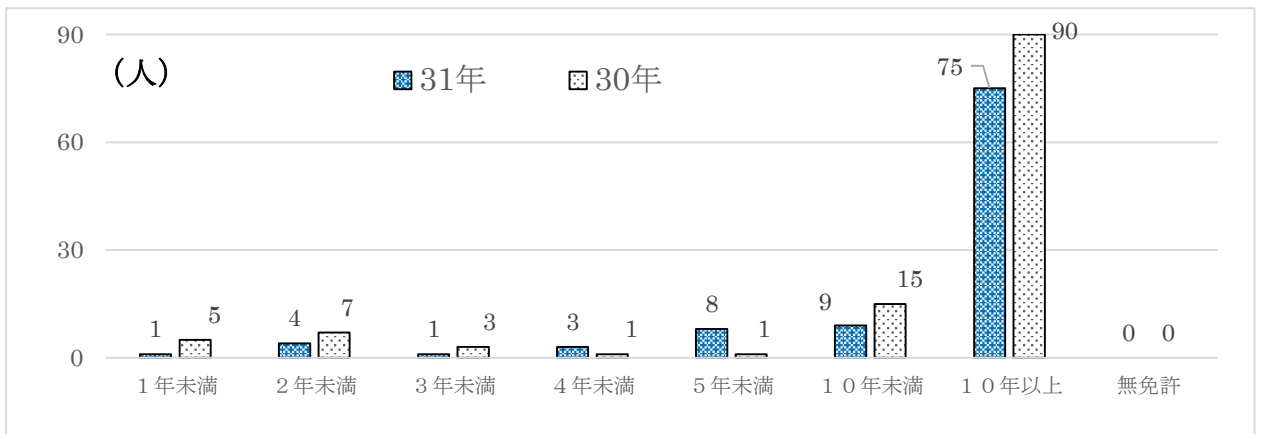
3 第1当事者の運行目的（平成31年中）



○ 第1当事者の運行目的は、業務中が42人（41.6%、前年比-21人）と大幅に減少しました。通勤途中は59人（58.4%、同±0人）でした。

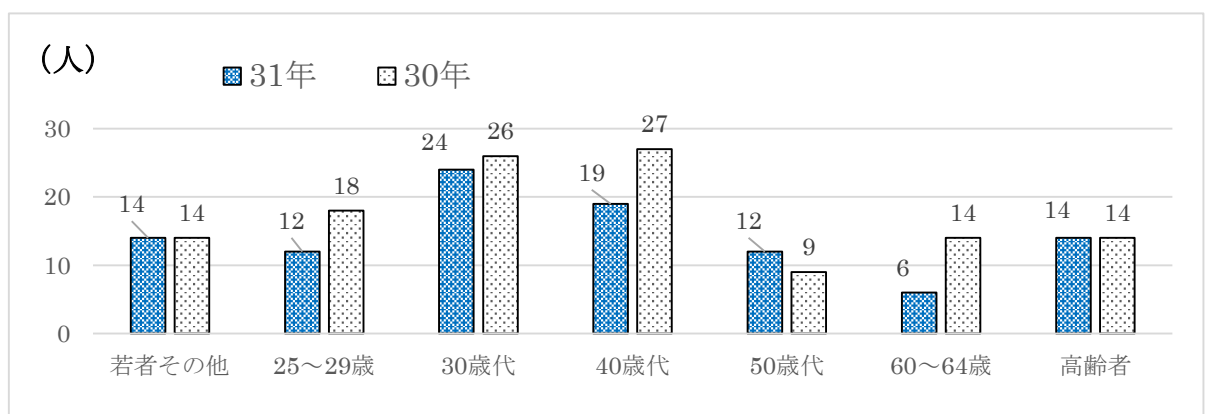
通勤中の事故を防止するため、見通しの悪い交差点が多い裏通りは避けるなど、通勤経路の見直しを推進して下さい。

4 第1当事者の免許経験年数（平成31年中）



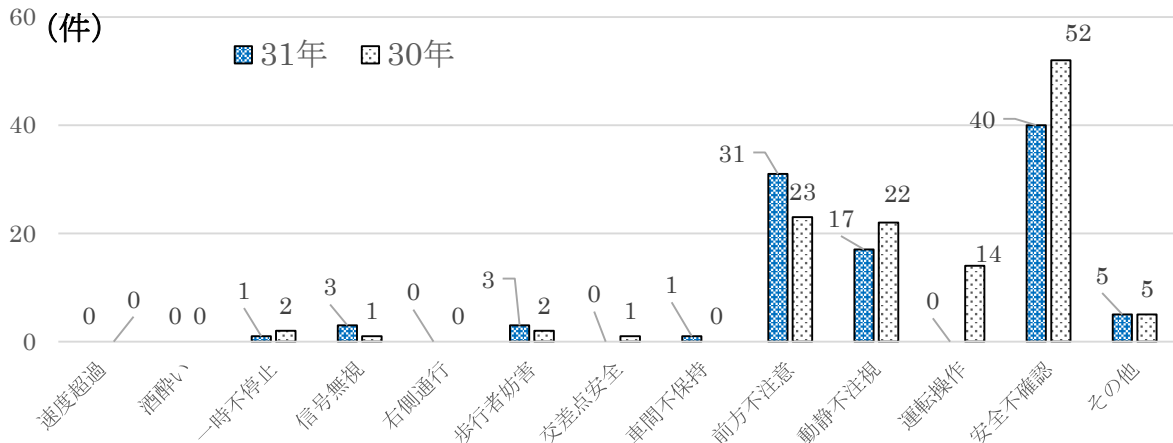
○ 第1当事者の免許取得経過年数別では、経過年数10年以上の者が75人（74.3%、前年比-15人）と最も多く、次いで5年以上10年未満の者が9人（8.9%、同-6人）でした。1年未満から5年未満の者の合計は17人（16.8%、同±0人）でした。運転経験の少ない従業員に対する安全教育はもとより、ベテラン従業員に対してもきめ細かい安全教育が必要です。

5 第1当事者の年齢層（平成31年中）



○ 第1当事者の年齢層は30歳代が24人（23.8%、前年比-2人）と最も多く、次いで40歳代が19人（18.8%、前年比-8人）とベテラン社員の事故が多くなっています。

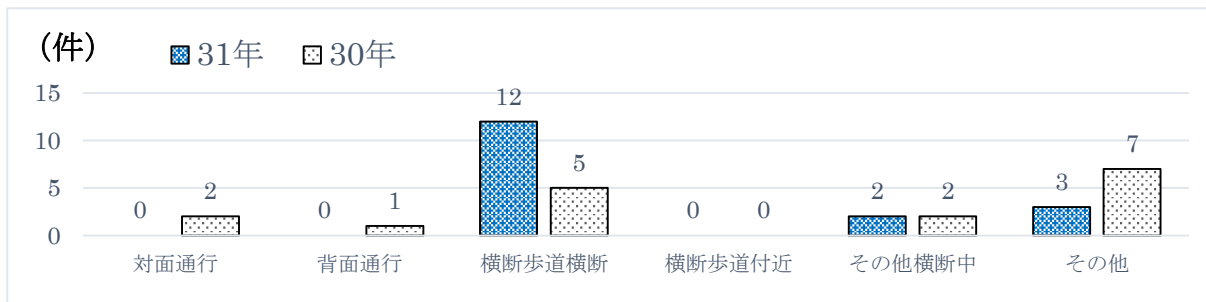
6 第1当事者の違反・原因別（平成31年中）



○ 事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計88件で事故原因の87.1%を占めています。

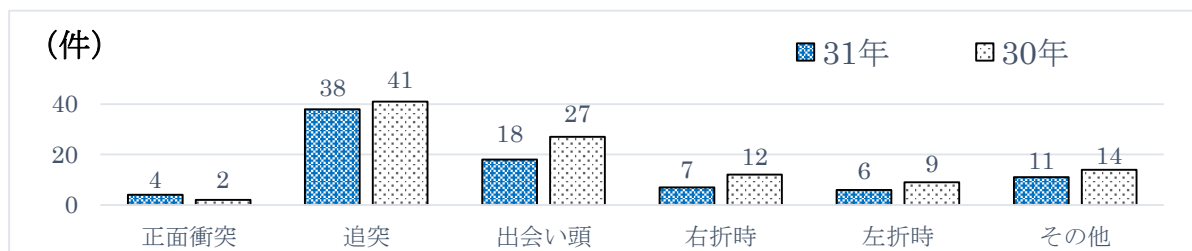
7 事故類型（平成31年中）

(1) 人対車両（計17件）



○ 横断中（横断歩道及びその付近、その他横断中）の事故は計14件で、人対車両の事故の約8割を占めています。人対車両の事故は、重傷事故に発展する可能性が高いので、特に交差点における歩行者優先を徹底して下さい。

(2) 車両相互（計84件）

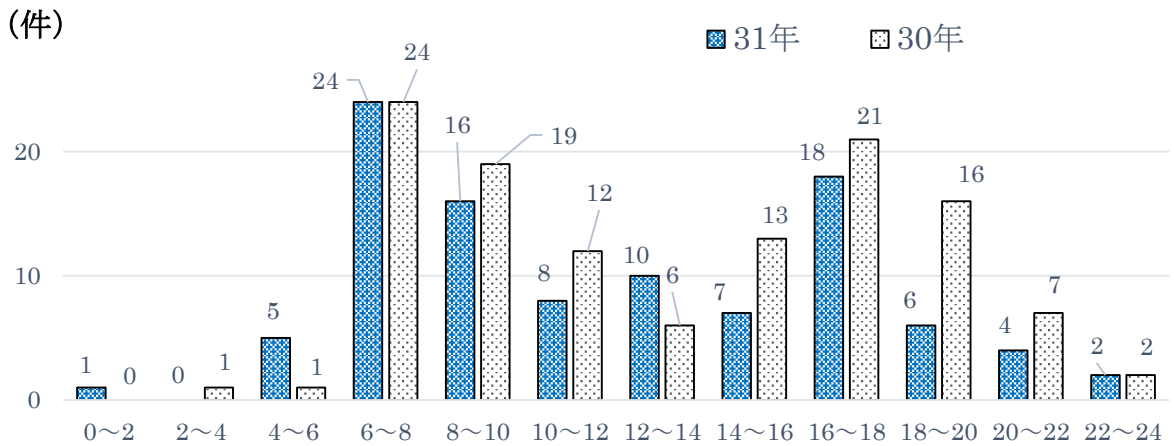


○ 追突の38件（37.6%、前年比-3件）が最も多く、事故類型の3分の1以上を占めています。次に多いのが出会い頭の18件（17.8%、同-9件）です。出会い頭事故は重大事故に発展する可能性が高いので注意して下さい。

(3) 車両単独（0件）

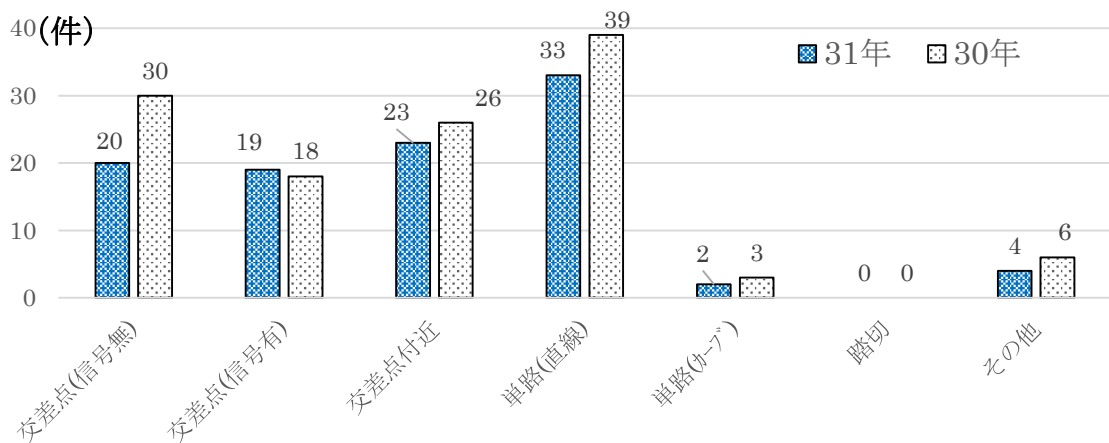
○ 本年、昨年とも1月中に車両単独事故の発生はありませんでした。

8 時間帯別発生状況（平成 31 年中）



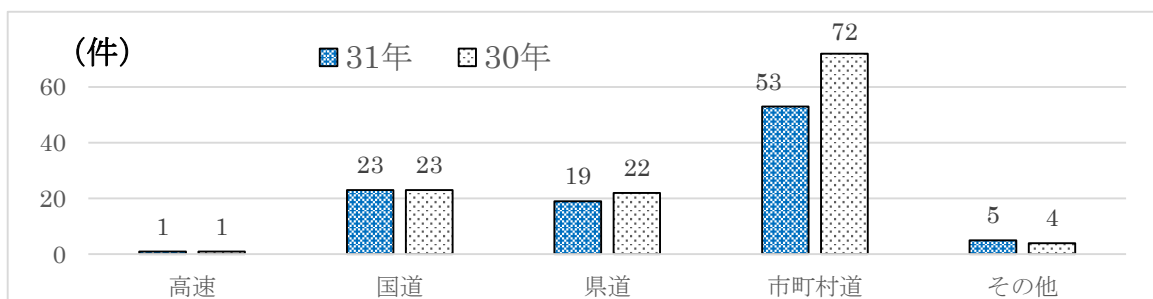
- 時間帯別で最も多いのは、6時から8時までの24件（23.8%、前年比±0件）でした。次いで多く発生したのは16時から18時までの18件（17.8%同一3件）でした。6時から10時までの時間帯に40件、39.6%の事故が発生しています。時間的な余裕を持った出勤や出発に心掛けて下さい。

9 道路形状別発生状況（平成 31 年中）



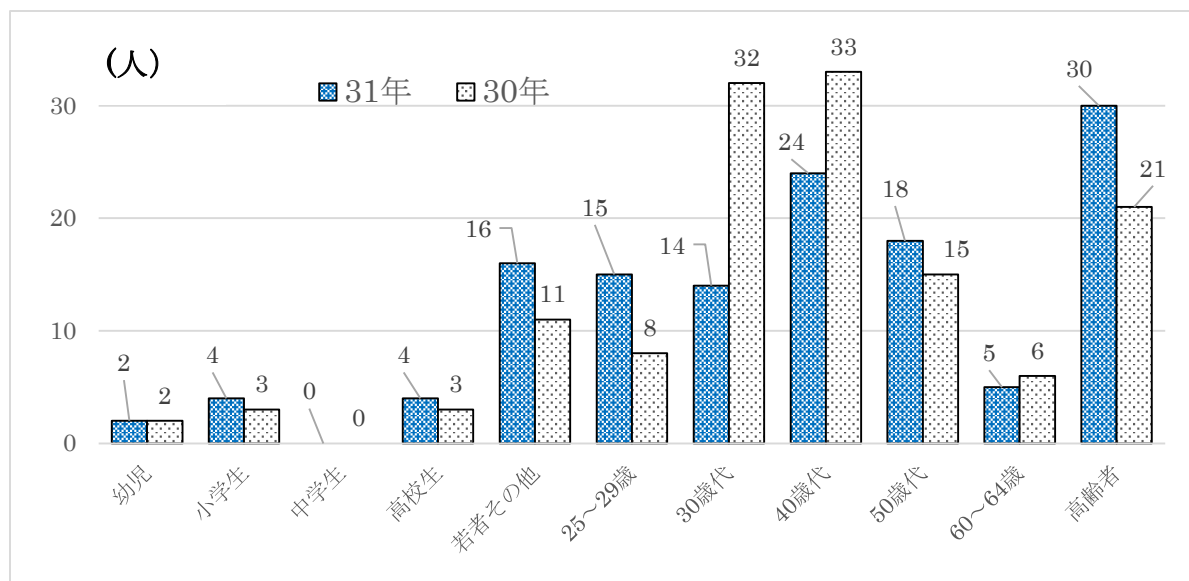
- 道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて62件（61.4%、前年比-12件）でした。単路（直線）の事故は33件（32.7%、同一-6件）といずれも減少しました。

10 道路別発生状況（平成 31 年中）



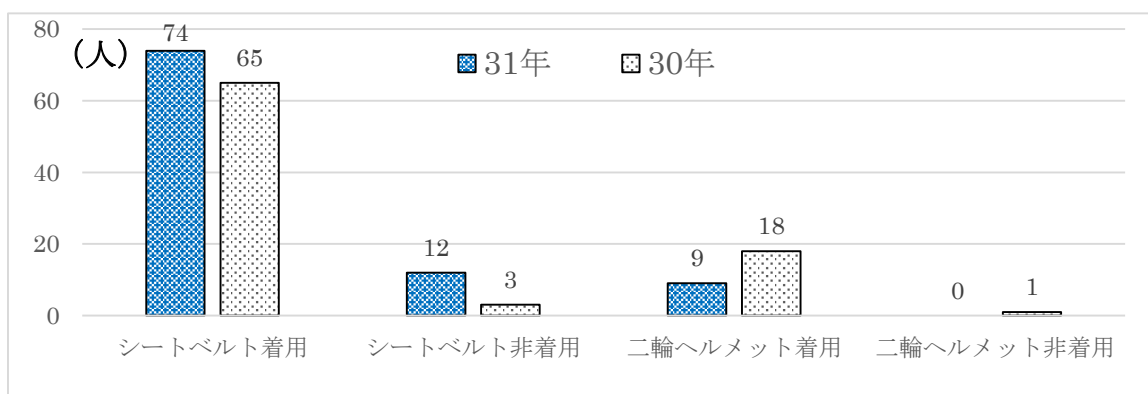
- 道路別では、市町村道が最も多く53件（52.5%、前年比-19件）、次いで国道が23件（22.8%、同±0件）、県道が19件（18.8%、同一-3件）でした。

11 死傷者の年齢層別（平成31年中）



- 死傷者の年齢層で多かったのは、高齢者の30人（22.7%、同+9人）、次いで40歳代の24人（18.2%、前年比-9人）でした。増加が著しかったのは、25～29歳の15人（11.4%、同+7人）と高齢者です。幼児と高齢者が被害者になる事故は重大事故になる可能性が高いので、特に注意して下さい。

12 シートベルト・ヘルメット着用状況（平成31年中）



- 四輪車の死傷者の内、シートベルトを着用していたのは74人（86.1%）、非着用は12人（13.9%）でした。二輪車の死傷者の内、ヘルメットを着用していたのは9人（100%）、非着用の者はいませんでした。